

【光村図書 国語2】 ぼん土産 一くプリント十四に続く

(1) 盆ぼんに帰省する

(14) 天ぷらのかきあげ揚げ

(2) 水に足をつける漬ける

(15) 魚の身をすりつぶす潰す

(3) 敏感びんかんに反応するく

(16) かみくだく砕く

(4) 唐突とうとつに話し始める

(17) 唾液だけきを飲み込む

(5) 間違いをていせい訂正する

(18) 湾曲わんきょくした形

(6) 魚をつる釣る

(19) 米つぶ粒

(7) 生きそばを食べる

(20) 飛びはねる跳ねる

(8) 囲炉裏いろりの火で焼く

(21) 柵さくを越える

(9) 串焼きくしやきにして食べる

(22) 心がやむ病む

(10) 川の水がこごる濁る

(23) 大きなかたまり塊

(11) 不吉ふきつな予感

(24) 箱のふた蓋

(12) 著しいいちじるしい成長を遂げる

(25) 冷凍食品れいとうしょくひんを食べる

著しい…目立ってはつきりしている。明らかだ。

(13) 沼ぬまにはまる

(26) 偉そうえらそうな態度

(1) パンが**焦げる**

こげる

(14) 思い立ったが**吉日**

きちじつ

ちみつ

(2) **緻密**な計算

緻密…細かいさま。また、細部まで正確なさま。

(15) **意気揚々**

いきようよう

自信たっぷり、誇らしげにふるまうさま。

しょうじん

(3) **精進**する

精進…何か特定のことに一生懸命打ち込む。

(16) **胃潰瘍**になる

いかいよう

ふめいりよう

(4) **不明瞭**な返答

(17) **粉骨碎身**

ふんこつさいしん

しょくたく

(5) **食卓**に料理が並ぶ

身を砕くほどの力の限り惜しまずに努力するという意味。

つば

(18) **唾**がたまる

がけ

(6) **崖**っぷちに立つ

りゅうし

(19) **細かな**粒子が飛ぶ

しやしやう

(7) 電車の**車掌**さん

(20) ハードルを**跳ぶ**

とぶ

ふくすいぼんにかえらず

(8) **覆水盆に返らず**

一度したことは、もはや取り返しがつかないことのたとえ。

ひょうかい

(21) **氷塊**を割る

からくさもよう

ずがいこつ

(9) **唐草模様**

(22) **頭蓋骨**の形

かろうとうせん

(10) **夏炉冬扇**

時期はずれの無駄なもの。のたとえ。

こおる

(23) 水が**凍る**

にごす

(11) お茶を**濁す**

いい加減な言葉や行動でその場をごまかす。

いぎよう

(24) **偉業**を成し遂げる

つる

(12) **えびでたいを釣る**

ほんの少しの元手や労力で多くの利益を得る。

しょうてん

(25) **焦点**が合う

あげ

(13) 正月にたこ**揚げ**をする

だんがいぜつべき

(26) **断崖絶壁**

非常に危機的な状況のたとえ

(1) 体操の「跳馬」の選手

ちょうば

(14) 江戸時代の「殿様」

とのさま

(2) 手足が「凍える」

こごえる

(15) 「威儀を正す」

いぎをただす

身なりを整え、作法にかなった立ち居振舞いをする。

(3) 山田花子「殿」

どの

(16) 「裁縫」道具

さいほう

(4) 「挨拶」をする

あいさつ

(17) 「天衣無縫」

てんいむほう

いかにも自然で、しかも完全に美しいこと。

(5) 「照れ性」の父

てれしょう

(18) 「泥を吐く」

どろはく

隠していた悪事・犯行などを白状すること。

(6) 「他人行儀」

たにんぎょうぎ

(19) 「宮殿」に住む王族

きゅうでん

他人に接する時のように、よそよそしくふるまうさま。

(7) 「肌着」を「縫う」

はだぎ

ぬう

(20) 米を「炊く」

たく

(8) 「木綿」の布

もめん

(21) 部下を厳しく「叱責」する

しっせき

叱責…失敗や過ちをきつく非難すること。

(9) 「炊飯器」でご飯をたく

すいはんき

(22) 恐ろしくて「絶叫」する

ぜつきょう

(10) 「餅」を食べる

もち

(23) 豪華な「御殿」に住む

ごてん

(11) 口から「吐き出す」

はきだす

(24) 「地球儀」を回す

ちきゅうぎ

(12) 厳しく「叱る」

しかる

(25) 「煎餅」を食べる

べい

(13) 大きな声で「叫ぶ」

さけぶ

(26) 「礼儀」正しい人

れいぎ

(1) 先生の自宅に「伺う」
うかがう

(14) 「有為転変」
ういてんぺん
万物が常に変化してやまないこと。

(2) 「来賓」の方のお話
らいひん
来賓…お客様の中でも最も主だった方。

(15) 「宮内庁 御用達」
ぎやうたし
御用達…誰かがよく使うことを意味する。
おろかな

(3) 失礼な「行為」
こうい

(16) 「愚かな」行い
おろかな

(4) 「謙譲語」は敬意を表す敬語
けんじやうご

(17) 「粗衣粗食」
そいそしよく
粗末な衣服と粗末な食事。

(5) 「ご芳名」は尊敬語
ごほうめい
ご芳名…名前の敬語、敬称表現。
おんしゃ

(18) 「拙い」文章
つたない
拙い…へただ。巧みでない。

(6) 「御社」は相手の会社を表す敬語。
おんしゃ

(19) 「愚」にもつかない
ぐ
まったくバカバカしくて話にならないの意。

(7) 「愚見」を申し述べる
ぐけん
愚見…弊社自分の意見をへりくだってという語。

(20) 「仕事」が「粗い」
あらい
仕事が粗い

(8) 「弊社」は自分の会社の謙称
へいしゃ
弊社…自分の働いている会社をへりくだって言う言葉。

(21) 「貴校」は素晴らしい学校だ
きこう
貴校…相手を敬って、その学校をいう語。

(9) 私の「拙著」です
せつちや
拙著…自分の書いた書物をへりくだって言う語。

(22) 「ご 尊父」様
そんぷ
尊父…第三者の父親に用いる敬称。

(10) 「粗品」を贈る
そしな
粗品…他人に贈呈する品物の謙遜した呼び方。

(23) 「お互いに」譲歩」する
じやうほ
譲歩…他人の考えと折り合いをつける。

(11) 「風呂」に入る
ふる

(24) システムを「制御」する
せいぎよ

(12) 「俳諧」連歌は日本文学の一つ
はいかい
俳諧…普通の連歌に対して、こっけいを旨とした連歌。

(25) 「語弊」がある
ごへい
語弊…言い方が適切でないために起こる弊害。

(13) 席を「譲る」
ゆずる

(26) 「親譲り」の性格
おやゆずり

中学校二年生の漢字プリント十七

名前

【光村図書 国語2】 同じ訓・同じ音をもつ漢字一くプリント十八に続く

(1) 医者に「診察」してもらう

(14) 金属を「鑄る」

(2) 間違いを「陳謝」する
陳謝…わけを言っであやまること。

(15) 弓矢を「射る」

(3) 「酪農」業を営む

(16) 建物が「浸水」する

(4) 「感慨」深い

(17) 「親水」性の物質

(5) 「紳士的」な態度

(18) 「苦汁」をなめる

(6) 「軌道」に乗る

(19) 「苦渋」の決断を下す

(7) 市の「福祉」政策

(20) 核兵器の「脅威」

(8) 「倫理」に反する

(21) 「驚異」的な回復力

(9) 委員会に「諮る」

(22) 「感傷」的な映画を観る

(10) 便宜を「図る」

(23) 他人の行動に「干渉」する

利益になるようなことや、特別な計らいなどを行うこと。

干渉…立ちいつて他人の物事に関係すること。

(11) 慎重な態度を「執る」

(24) 「平衡」感覚が優れている

(12) ボールを「捕る」

(25) 道路と「並行」している川

(13) 「鐘」が鳴る

(26) 自由を「享受」する

享受…受け取って自分のものにする事。

中学校二年生の漢字プリント十八

名前

【光村図書 国語2】 同じ訓・同じ音をもつ漢字続き十九／漢字に親しもう3 二十〜プリント十九に続く

(1) 大学の「教授」

きょうじゆ

(14) 「感慨無量」

かんがいむりよう

胸一杯になるほど、しみじみ感ずること。

(2) 作者の心の「軌跡」をたどる

きせき

(15) 湯呑みに「茶渋」がつく

ちゃしぶ

軌跡…ある人や物事がたどってきた跡。

(3) 「奇跡」が起こる

きせき

(16) 条件を「交渉」する

こうしょう

(4) 病状を「診る」

みる

(17) 「均衡」を保つ

きんこう

均衡…幾つかの物・事の間につり合い。

(5) 「新陳代謝」

しんちんたいしや

(18) 「享年」八十才

きょうねん

新しいものが古いものと次第に入れ替わること。

享年…天から授かって、この世に生存した年齢。

(6) 「諮問」委員会に意見を求める

しもん

(19) 喜びに「浸る」

ひたる

諮問…意見を尋ね求めること。

(7) 「執務」を担当する

しつむ

(20) 料理を「配膳」する

はいぜん

執務…事務を取り扱うこと。

(8) 「警鐘」を打ち鳴らす

けいしょう

(21) 「海藻」のサラダを食べる

かいそう

警鐘…警告のために鳴らす鐘。

(9) 仏像を「鑄造」する

ちゆうぞう

(22) 栄養を「接種」する

せつしゆ

(10) 水に手を「浸す」

ひたす

(23) 味噌を「醸造」する

じょうぞう

(11) レモンの「汁」

しる

(24) 「蜂蜜」をかける

はちみつ

(12) 発言を「渋る」

しぶる

(25) ラーメンは「麺類」だ

めんるい

(13) お金に「執着」する

しゅうちやく

(26) 食後に「煎茶」を飲む

せんちや

【光村図書 国語2】漢字に親しもう3 続き〜二十四

(1) 銃に弾丸を**充填**する

充填…空いている所にものをつめて満たすこと。

かさく

(2) 自分の作品が**佳作**になる

佳作…入賞した作品に次ぐすぐれた作品。

おうとつ

(3) **凹凸**のはげしい道

彼女を生徒会長に**推す**…他に薦める。推薦する。

おす

ぼきん

(4) 赤い羽根**募金**

ボタンを**押す**

おす

かじよう

(5) **自信****過剰**

自信を多く持ちすぎること。

しげき

(6) **刺激**が強い

国交を**断つ**

たつ

さくげん

(7) **経費**を**削減**する

消息を**絶つ**

たつ

せんざい

(8) 衣類用**洗剤**

海の**藻**くずとなる

も

はえる

(9) 野原に**生える****草花**

豆を**煎る**

いる

はえる

(10) 夕日に**映える****山**

参加者を**募る**

つもの

かえりみる

(11) 自分の生活を**省みる**

省みる…自分の行動の良し悪しについて考え反省する。

かえりみる

(12) 幼い頃のことを**顧みる**

顧みる…過ぎ去った事を思い起こす。

あらわす

(13) **自伝**を**著す**

著す…書物を書いて世に出す。

【光村図書 国語2】モアイは語る―地球の未来―プリント二十一に続く

(1) 巨大きよだいな石造

(14) 部族間の抗争こうそう

抗争…互いに張り合い、争うこと。

(2) 絶海の孤島ことう

(15) 事故が頻発ひんぱつする

頻発…しきりに起こること。

(3) 膨大ぼうだいな数の石像

(16) 文明が崩壊ほうかいする

なぞ

こうじょうか

(4) 歴史の謎

(17) 食糧不足が恒常化こうじょうかする

恒常化…それが当たり前になってしまっている状態。

(5) 作物を栽培さいばいする

(18) 飢餓きがに苦しむ

飢餓…食物が不足して、うえること。

ぎょうかいがん

しつこく

(6) 凝灰岩ぎょうかいがんは加工しやすい

(19) 宇宙という漆黒しつこくの海

たいてい

とうじく

(7) 大抵の場合

(20) 盗みの罪で投獄とうじくされる

うんぱん

ふくらむ

(8) モアイを運搬うんぱんする

(21) つぼみが膨らむ

たいせきぶつ

こる

(9) 地表の堆積物たいせきぶつを調べる

(22) 肩が凝るこる

じょじょ

しんすいのろう

(10) 徐々じょじょに減少する

(23) 薪水しんすいの労

炊事などの日常の雑事を苦勞をいとわずすること。

たきぎ

じぼうじき

(11) 薪たきぎを集める

(24) 自暴自棄じぼうじき

自分の身を粗末に扱い、やけくそになること。

ほうき

おかす

(12) 途中で放棄ほうきする

(25) 領土を侵すおかす

しんしよく

くずれる

(13) 土壌が雨で侵食しんしよくされる

(26) 積み木が崩れるくずれる

中学校二年生の漢字プリント二十一 名前

【光村図書 国語2】モアイは語る―地球の未来 続き〜十三／根拠のぎんみ 十四〜十九

(1) 飢えうえ に苦しむ

(2) 漆うるし 塗りの器

(3) 地獄じごく で仏に会ったよう
苦難や苦しみの時に予想もしない助けにあった喜び。

(4) 腹が 膨れるふくれる

(5) 息を 凝らすこらす
呼吸を静かにして、そのことに集中する。

(6) 畑に 堆肥たいひ をまく

(7) 不可侵ふかしん の権利
侵すことのできない権利。

(8) 恒温こうおん 動物
自らの体温を一定に保つことができる動物。

(9) 血液が 凝固ぎょうこ する

(10) 思わぬ 抵抗ていこう にあう

(11) 競技を途中で 棄権きけん する

(12) 試験の 頻出ひんしゅつ 問題

(13) 孤独こどく な生活

(14) 材料を 吟味ぎんみ する
吟味…詳しく調べ確かめること。

(15) 問題点を 把握はあく する
把握…しっかり理解すること。

(16) 一致団結いちだんけつ
心を一つにして協力しあうこと。

(17) 十把じっば ひとからげ
様々なものを大雑把にひとまとめにして扱うこと。

(18) 思いを 致すいたす
特定の事柄や人物に対して深く気持ちを向けること。

(19) 致命傷ちめいしょう を負う

かまくら

(1) 鎌倉 時代の文化

いしよく

(14) 研究を 委嘱 する

委嘱…特定の仕事を一定の期間、他者に任せること。

こふん

(2) 古墳 について学ぶ

じゅばく

(15) 呪縛 を解く

呪縛…心理的な強制によって人の自由を束縛すること。

じんとう

(3) 武将が 陣頭 に立つ

しき

(16) 改革の可能性を 示唆 する

示唆…それとなく教えること。ほのめかすこと。

かいたく

(4) 新たな土地を 開拓 する

のどもと

(17) 喉元 過ぎれば熱さを忘れる

開拓…山野を切り開くこと。新分野をきり開くこと。

困難に苦しんだことも過ぎてしまえば忘れること。

しゅりよう

(5) 森で 狩猟 をする

せいば

(18) お 歳暮 を贈る

ぼっぱつ

(6) 内乱が 勃発 する

いしやう

(19) 衣装 を変える

勃発…突然に発生すること。

こんせき

(7) 戦争の 痕跡 が残る

しなん

(20) 至難の 業 だ

実現が極めて困難であること。

おくびやう

(8) 臆病 な性格

ばくろ

(21) 秘密を 暴露 する

きおく

(9) 記憶 をたどる

かまをかける

(22) 鎌を掛ける

真相や知りたい事柄を喋るように誘い掛けること。

かいしょ

(10) 楷書 で書く

はいすいのじん

(23) 背水の陣

楷書…漢字の書体の一つ。一点一画を正確に書く書体。

ていたく

(11) 豪華な 邸宅 に住む

きずあと

(24) 傷跡 が残る

邸宅…一般的に広く大きな住宅のこと。

がいとう

(12) 全ての項目に 該当 する

のろう

(25) 不運を 呪う

がいこつ

(13) 骸骨 が見つかる

おく

(26) 強敵に 臆 する

中学校二年生の漢字プリント二十三 名前

【光村図書 国語2】 月夜の浜辺 一〜三 / おうぎの的 「平安物語」 から四〜二十六

(1) 辛さをじつと「忍ぶ」
しのぶ
忍ぶ…我慢する
にんじや

(14) 聞くに「堪え」ない話
たえ

(2) 「忍者」について調べる
しのばせる

(15) 「逸話」
いつわ
として有名な話

(3) 声を「忍ばせる」
人に知られないようにする。
おうぎ

(16) 「騎士」
きし
として戦う

(4) 「扇」の的
わずかな

(17) 世間の「嘲笑」
ちやうしょう
を買う
嘲笑…あざけって笑うものにする。
せんぷうき

(5) 「僅かな」
わずかな
人数

(18) 「扇風機」
せんぷうき
で涼む

(6) 「突如」
とつじよ
として現れる

(19) 「僅差」
きんさ
で負ける

(7) 「舟」
ふね
で川を渡る

(20) 「一房」
ひとつぶ
の葡萄

(8) 若い「女房」
にようぼう
をもらう

(21) 運動方針の「要綱」
ようこう
要綱…根本を成す大事な事柄をまとめたもの。
ひょうちやく

(9) 「二十歳」
はたち
のお祝い

(22) 海岸に「漂着」
ひょうちやく
する

(10) 馬の「手綱」
たづな

(23) 「一騎当千」
いつきとうせん
人並みはずれた能力や経験などのたとえ。
あざける

(11) 気品が「漂う」
ただよう

(24) 人を「嘲る」
あざける
人のことを軽蔑したり、馬鹿にしたりすること。
いっする

(12) 「面」
おもて
を向かう
顔を向ける。対面する。

(25) 好機を「逸する」
いっする
よい機会を取り逃がす。
だんぼう

(13) 「浦」
うら
とは、波が静かな入江

(26) 「暖房」
だんぼう
を点ける

中学校二年生の漢字プリント二十四 名前

【光村図書 国語2】仁和寺にある法師「徒然草」から一〜四／漢詩の風景五〜二十六

するどい

(1) 鋭い 刃

ろうにん

(14) 浪人 生活

まさる

(2) 勝る とも劣らない

勝っている所はあるが負けている所はないこと。

きゅうれき

(15) 旧暦 の三月は晩春

しんしんきえい

(3) 新進気鋭

積極的に新しい物事に取り組んでいこうという気質や性格。

きしょう

(16) 起床 時間を過ぎる

しょうすうせいえい

(4) 少数精鋭

数は少ないが能力にすぐれた集団。

へいへいばんばん

(17) 平々凡々

ありふれたこと、普通なこと。

あかつき

(5) 春眠 暁 を覚えず

ていけつ

(18) 講和条約を 締結 する

ねどこ

(6) 寝床 に入る

しきい

(19) 敷居 が高い

ぞくにん

(7) 俗人 の世界

利益や評判しか考えないような、くだらない人物。

いきしょうちん

(20) 意気消沈

元気がなくなってしまうこと。

へいばん

(8) 平凡 な人間

ろうかく

(21) 砂上の 楼阁

一見立派だが基礎がもろくて長く維持できないこと。

こよみ

(9) 明るい 雰囲気

ふんいき

(22) 寒くても 暦 の上では春だ

暦..年月日を定める方法の仕組み。

ゆかした

(10) 一年の 締め くり

しめ

(23) 床下 収納

しまる

(11) 布団を 敷く

しく

(24) 身の引き 締まる 思い

より一層真剣に取り組むもうと決意する。

りんしょう

(12) いずれ 又 伺います

また

(25) 臨床 実験をする

臨床..実際に病人を診察・治療すること。

あかつき

(13) 悲しみに 沈む

しずむ

(26) 成功した 暁

中学校二年生の漢字プリント二十五 名前

【光村図書 国語2】君は「最後の晩餐」を知っているか 一〜二十六

かいぼうがく

(1) 解剖学 は人体の科学

すで

(14) 既 に日は暮れた

りくつ

(2) 理屈 では説明できない

りんかく

(15) 人物の 輪郭 が作る形

しょうげき

(3) 衝撃 が走る

かんたん

(16) 感嘆 の声を上げる

しばい

(4) 芝居 を観る

感嘆…感心してほめたたえること。
かたみがせまい

すいもん

(5) 池に 水紋 が広がる

(17) 肩身が狭い
他の人や世間に対して面目が立たない。
いさいをはなつ

でし

(6) 弟子 を持つ

(18) 異彩を放つ
周囲と比べて異なる特徴をもっていること。
なげき

けいむしよ

(7) 刑務所 に入る

きち

(20) 既知 の事実

ようぼう

(8) 美しい 容貌

(21) たぬきの 剥製
はくせい

容貌…人の顔立ちのことである。

せまい

(9) 狭い 部屋

せばまる

(22) 差が 狭まる

しめ

(10) 一年の 締め くくり

たいくつ

(23) 退屈 しのぎ

きわめる

(11) 学問を 究める

退屈などきに気を紛らすために行う物事。
しょうとつ

はげ

(12) 絵の具が 剥げ 落ちる

もんしょう

(25) 王家の 紋章

しきやく

(13) 鮮やかな 色彩

ぜんぼう

(26) 事件の 全貌

(1) 洞窟 を探検する

(2) 珊瑚礁 に住む魚

(3) 真珠 のネックレス

(4) 冥王星 は太陽系の星

(5) 窒素 は気体元素の一つ

(6) 岬 に立つ灯台

(7) 丘陵 からの景色

(8) 鬼に金棒

(9) 猫の額

(10) 鶴の一声

(11) 柳に風

(12) 湿潤 な気候

(13) ホルモンを分泌 する

(14) 汎用 性が高い

(15) 肥沃 な土地

(16) 乳飲み子 をあやす

(17) 住所に 大字 が付く

(18) 故 あって退出する

(19) 祖父の 面影 がある

(20) 暗礁 に乗り上げる

(21) 洞穴 を掘る

(22) 柳 に雪折れなし

(23) 映画界の 鬼才

(24) 喉を 潤す

(25) 川柳 を詠む

(26) 目が 潤む

はんよう

ひよく

ちのみこ

おおあざ

ゆえ

おもかげ

あんしよう

ほらあな

やなぎ

きゆうこ

うるおす

せんりゆう

川柳…五・七・五の十七音の短詩。

どうくつ

しょう

しんじゆ

めいおうせい

ちっそ

みさき

きゅうりょう

おににかなぼう

ねこのひたい

つるのひとこえ

やなぎにかぜ

相手の強い態度に巧みに応対して受け流すこと。

ぜつめつ

(1) 「絶滅」した動物

ほにゅうるい

(2) 人間は「哺乳類」だ

ごうか

(3) 「豪華」なメンバー

ともなう

(4) 時代の流れに「伴う」変化

げん

(5) バイオリンの「弦」

あくせんくとう

(6) 「悪戦苦闘」

非常な困難の中で苦しみながら一心に努力すること。

(7) 身を「滅ぼす」

ばんそう

(8) ピアノの「伴奏」

たたかう

(9) 社会の悪と「闘う」

しりめつれつ

(10) 「支離滅裂」

まとまりがなく、筋道が立っていないさま。

(11) 集中「豪雨」で川が氾濫する

けんとう

(12) 「健闘」を祈る

「全力を尽くして頑張れ」という応援の意味。

どうはん

(13) 小学生は親の「同伴」が必要

中学校二年生の漢字プリント二十八 名前

【光村図書 国語2】 走れメロス 一〜プリント二十九に続く

(1) 〔**邪悪**〕な気配
じゃあく

(2) 〔**虐待**〕を受ける
ぎゃくたい

(3) 〔**花婿**〕と〔**花嫁**〕
はなむこ はなよめ

(4) 〔**祝宴**〕のごちそう
しゅくえん

(5) 〔**賢者**〕の石
けんじゃ

(6) 〔**人質**〕をとる
ひとじち

(7) 〔**警吏**〕の職務
けいり
警吏・警察官吏。警察官。

(8) 〔**眉間**〕のしわ
みけん

(9) 〔**民**〕の忠誠心
たみ

(10) 一矢を〔**報**〕いる
むくいる
相手の攻撃に対して、少しでも反撃や反論する。

(11) 〔**命乞**〕い〔**い**〕をする
いのちごい

(12) 〔**亭主**〕〔**関**〕白
ていしゅ かんぱく
夫が家庭で権力を握り威張っている状態。

(13) 〔**一**〕睡〔**も**〕出来なかった
いっすい

(14) 〔**家**〕に〔**到**〕着〔**す**〕る
とうちゃく

(15) 〔**祭**〕壇〔**に**〕花を供える
さいだん

(16) 祝宴の席を〔**調**〕える
ととのえる

(17) 外泊の〔**承**〕諾〔**を**〕得る
しょうだく

(18) 〔**新**〕郎〔**新**〕婦
しんろうしんぷ

(19) 〔**蒸**〕し暑〔**い**〕
むしあつい

(20) 〔**生**〕涯〔**に**〕一〔**緒**〕にいる
しょうがい

(21) 酒に〔**酔**〕う
よう

(22) 〔**拳**〕を握る
こぶし

(23) 災難が降って〔**湧**〕く
わく

(24) 台風で川が〔**氾**〕濫〔**す**〕る
はんらん

(25) 強風で波が荒れ〔**狂**〕う
くるう

(26) 〔**誠**〕の愛
まこと

中学校二年生の漢字プリント二十九 名前

【光村図書 国語2】 走れメロス 続き〜プリント三十に続く

とうぞく

(1) 盗賊に襲われる

ぜんらたい

(14) 全裸体になる

すき

(2) 相手がひるんだ隙に逃げる

うらむ

(15) 不運を恨む

あおぐ

(3) 天を仰ぐ

ほうよう

(16) 親友と抱擁する

嘆いて、神に訴えるように顔を上方へ向ける。

なえる

(4) 心が萎える

ばんざい

(17) 万歳三唱

萎える…気力が抜ける。ぐったりする。

いもむし

(5) 芋虫がサナギになる

とつぐ

(18) 姉が嫁ぐ

ぼうかん

(6) 喧嘩を傍観する

かしこい

(19) 賢い犬

傍観…当事者でないという立場・態度で見ること。

しんく

(7) 真紅のバラ

まゆ

(20) 眉をひそめる

あざむく

(8) 友人を欺く

よういしゅうとう

(21) 用意周到

準備を怠りなく行うこと。

(9) 卑劣な行為

すいせいむし

(22) 醉生夢死

卑劣…品性や言動がいやしいこと。

みにくい

(10) 醜い姿

けんぼう

(23) 拳法を習う

しし

(11) 四肢を投げ出して寝る

ゆうしゅう

(24) 温泉が湧出する

四肢…両手と両足。

けとばす

(12) 犬を蹴飛ばす

きょうきらんぶ

(25) 狂喜乱舞

ふうてい

(13) 風体なんてどうでもいい

しんこう

(26) 信仰心が強い

風体…容姿。身なり。

【光村図書 国語2】 走れメロス 続きく十七 / 漢字に親しもう6十八 / プリント三十一に続く

(1) 人前だと「**萎縮**」してしまおう

いしゆく

(14) 学校の「**花壇**」

かだん

(2) 「**芋**」を洗おうよう

いも

狭い所で多数の人が込み合うようすのたとえ。

(15) 「**熱狂的**」なファン

ねつきようてき

(3) 「**詐欺**」にあう

まぎ

(16) 「**仰天**」して腰を抜かす

ぎようてん

(4) 「**醜態**」をさらす

しゅうたい

(17) 人権を「**擁護**」する

ようご

擁護…かばいまもること。
めんえきりよく

(5) 抗議を「**一蹴**」する

いっしゆく

(18) 「**免疫力**」が低下する

めんえきりよく

一蹴…問題にもせず拒絶すること。簡単に負かすこと。
まるはだか

(6) 木が「**丸裸**」になる

まるはだか

(19) 祖母が「**補聴器**」を付ける

ほちようき

(7) 「**痛恨**」のミス

つうこん

(20) 運動して「**痩せる**」

やせる

(8) 「**無邪気**」に遊ぶ

むじゃき

(21) 「**循環器**」専門の医者

じゆんかんき

(9) 「**自虐的**」な発言

じぎやくてき

(22) 足の傷が「**治癒**」する

ちゆ

(10) 「**宴会**」を主催する

えんかい

(23) 「**尿検査**」を受ける

にようけんさ

(11) 「**料亭**」の豪華な料理

りようてい

(24) 「**皮膚科**」を受診する

ひふか

(12) 「**雨乞い**」の儀式

あまごい

(25) 「**勇猛果敢**」

ゆうもうかかん

勇ましくて勢いがあり、決断力に富んでいること。

(13) 「**熟睡**」できる枕

じゆくすい

(26) 「**時期尚早**」

じきしょうそう

事をするには早すぎるという意味。

中学校二年生の漢字プリント三十一 名前

【光村図書 国語2】漢字に親しもう6 続き〜二十一 / 話し言葉と書き言葉 二十二〜二十五

しんぼうえんりよ

(1) 深謀遠慮

遠く先々のことまで考えて、深く計画をめぐらすこと。

はくしてつかい

(2) 白紙撤回

一度決まった事柄を、何もなかった元の状態に戻すこと。

ふきゅう

(3) 不朽の名作

ゆうかん

勇敢な行動

(4) 携帯電話の普及

しょうがくきん

奨学金をもらう

(5) 毎日の運動を奨励する

しょうれい

奨励…よい事だとして、それを行うように勧めること。

(6) 病気の症例を報告する

しょうれい

後遺症に悩む

(7) 河川の水質調査をする

しちようかくしつ

視聴覚室

(8) 機織り機で布を織る

いやされる

心が癒やされる

(9) 旅客機に乗る

あいまい

曖昧な返事

(10) 小児科にかかる

あいまい

曖昧…内容がしつかり捉えにくく、はっきりしないこと。

(11) 音楽を聴く

しんぶん

三昧…一心不乱にその事をする事。

(12) 傷が癒える

えつらん

図書館の資料を閲覧する

(13) 朽ち果てる

(1) 〔肘〕を曲げる ひじ

(14) 反応が〔鈍い〕 にぶい

(2) 〔堤〕を築く つつみ

(15) 〔朗らか〕な性格 ほがらか

堤..水があふれないように岸に土を高く築き上げた土手。

朗らか..気持・性格が明るく楽しげなこと。

(3) 〔寿〕を保つ ことぶき

(16) 子供が〔健やか〕に育つ すこやか

命が長いこと。長命。長寿。

(4) 秀才の〔誉れ〕が高い ほまれ

(17) 〔憂い〕に沈む うれい

秀才だと、世間的に評価が高いこと。

憂い..心配。悲しみ。嘆き。

(5) 風〔薫る〕季節 かおる

(18) 栄養が〔偏る〕 かたよる

あやつる

ぼうはてい

(6) 人形を巧みに〔操る〕

(19) 〔防波堤〕を築く

こらしめる

ふろうちようじゆ

(7) 悪人を〔懲らしめる〕

(20) 〔不老長寿〕 いつまでも老いを感じさせることなく長生きすること。

つつしんで

めいよ

(8) 〔謹んで〕お受けします

(21) 〔名誉〕ある賞

ねばりづよく

ちようばつ

(9) 〔粘り強く〕取り組む

(22) 違反者を〔懲罰〕する

きたえなおす

きんがしんねん

(10) 足腰を〔鍛え直す〕

(23) 〔謹賀新年〕 「謹んで新年をお祝いいたします」の意味。

なまける

ねんちやく

(11) 練習を〔怠ける〕

(24) 〔粘着〕テープ

おこたる

たんれん

(12) 報告を〔怠る〕

(25) 精神を〔鍛錬〕する

さまたげ

たいだ

(13) 安眠を〔妨げ〕られる

(26) 〔怠惰〕な人 怠惰..なまけてだらしないこと。

中学校二年生の漢字プリント三十三 名前

【光村図書 国語2】送り仮名続きく八／木九く十一／資料十二く十四

(1) 鈍感 〔な人〕

どんかん

(14) 助太刀 〔する〕

すけだち

助太刀…加勢や援助をすること。

(2) 事態を 〔憂慮〕する

ゆうりよ

憂慮…心配すること。思いわずらうこと。

(3) 偏見 〔の目で見える〕

へんけん

こりる

(4) 一度で 〔懲りる〕

きんげんじつちよく

(5) 謹厳実直 〔 〕

きわめて慎み深く、まじめで正直なさま。

ねばりけ

(6) 粘り気 〔のある糊〕

ふへんふとう

(7) 不偏不党 〔 〕

どちらにもかたよらないで、公正・中立の立場に立つこと。

うれえる

(8) 国の前途を 〔憂える〕

憂える…悪い結果になりはしないかと心配する。

いなづま

(9) 空に 〔稲妻〕が走る

いねかり

(10) 秋に 〔稲刈り〕をする

すいとう

(11) 水稻 〔栽培のイネ〕

水稻…水田で栽培するイネ。

やまと

(12) 大和 〔の国〕

たち

(13) 太刀 〔をふるう〕

太刀…長大な刀剣の総称。